

学校教育目標

考える子
心豊かな子
元気な子

前年度の学力向上に関する成果と課題

・主体的・対話的で深い学びを実現するために、児童が課題意識をもって学習を行う授業改善に努めることができた。一方で、基礎的・基本的な学力の定着、思考力・判断力・表現力の向上には課題が残る。国語科においては、書く学習、算数科においては、特に図形領域で課題が大きい学年が多い。また、学力差が大きく個別対応が必要な児童も少なくない。

今年度の学力向上に関わる指導の重点

- ・基礎的・基本的な学力の定着を徹底することができるように、習熟できる時間を活用しながら、確実に指導できるようにする。
- ・国語科の校内研究を通して、文章を読み取り自分の考えをもつ力を高める。
- ・思考力・判断力・表現力の向上を目指し、自分の考えを伝えたり、友達の考えを比べたりする学習を継続的に行う。
- ・児童が課題意識をもち、学習に参加する授業づくりを行う。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
<p>児童の姿 (学力調査(2～6年)や授業から見られる成果と課題)</p> <p>○成果</p> <p>●課題</p>	<p>○自分の考えすすんで話す。</p> <p>○学習に意欲的に取り組む。</p> <p>●特殊音節の読み書きをすすめる。</p> <p>●基礎的な計算力を身に付ける。</p>	<p>○国語は、全国・区の平均を少し上回っている。</p> <p>○算数の計算、データの分析は80%以上が達成している。</p> <p>●国語の聞く力が区の平均よりわずかに下回る。</p> <p>●算数の、図形、測定領域の達成率が50%未満。</p> <p>●算数では、思考力において学力差が大きい。</p>	<p>○具体物を操作する学習や体験学習において、意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>●国語・算数とも、基礎学力の定着を図る必要がある。</p> <p>●算数では、東京ベーシック・ドリルテストの正答率が50%程度である。</p>	<p>○学びに向かう力が全国平均と比べ上回っており、主体的に学習に取り組むことができる。</p> <p>●文章の内容に合う説明を選ぶこと、話し合いを参考に文章を具体的に書き足すこと。</p> <p>●作図や図形の特徴を理解して問題を解くこと。</p>	<p>○国語・算数とも全国・区の平均を少し上回っており、基礎基本が身に付いている児童が多い。</p> <p>●漢字の書き取りや文章の読み取りの力を伸ばす。</p> <p>●図形の特徴を正しく理解する。</p>	<p>○思考力が高く、自ら学びに向かう力が身に付いている。</p> <p>●基礎基本の定着が図れていない児童がいる。</p>
<p>今年度の指導の重点</p>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回、言葉集め等で語彙力の向上を図る。 ・毎日、音読をして読み取る力の向上を図る。 ・MIMを月1回行い、苦手な特殊音節を明確にし、補習プリントを実施する。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、計算カードに取り組む計算力の向上を図る。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、聞いてメモを取る学習を月に2回程度実施する。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、具体物を操作する活動を多く取り入れる。 ・少人数算数において、習熟を図る時間と思考力を身に付ける時間に軽重を付けられるよう、学習を計画する。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字小テストを繰り返し実施する。 ・話す・聞く活動を日頃から意識的に取り入れる。 ・主語・述語を意識し、作文用紙を用いて正しい短文を書く取り組みを行う。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミライシード、東京ベーシック・ドリルを学びタイムで行う。 ・個別対応が必要な児童には、習熟の時間を増やし、基礎基本の定着を図る。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を正しく理解できるよう、叙述を意識して読み取る授業を行う。 ・正しい文章が自分で判断できるよう、短い文章を推敲する学習を意識的に行う。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びタイムで作図を取り入れる。また、東京ベーシック・ドリルテストでの苦手分野についてミライシード等で習熟を図る。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で文章を正しく理解し、自分の考えを書く学習を意識して行う。 ・漢字の小テストを繰り返し実施する。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びタイムで図形の問題を意識的に取り入れる。 ・個別対応が必要な児童には、習熟の時間を増やし、基礎基本の定着を図る。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字小テストを繰り返し実施していく。 ・協動的な学びを効果的に取り入れる。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数算数において、基礎基本の力が十分に身に付いている児童は、自身で既習を生かし問題を発展して考える活動を増やす。個別対応が必要な児童には、習熟の時間を増やし、基礎基本の徹底をしていく。
<p>目指す成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊音節の定着8割を目指す。 ・計算カードの一桁の加・減法が設定した時間で答えられる児童が8割以上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いて理解したことを自分の言葉で伝えられる児童を目指す。 ・基礎学力に基づいた思考力の向上を目指すと共に、東京ベーシック・ドリル正答率を10%上げることを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話をよく聞き、自分の考えをもったり、正しい漢字や文章を書いたりできる児童を目指す。 ・東京ベーシックドリル・テストの正答率70%を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の文章を書く学習では、モデル文を参考に、自力で考えを書くことができる児童を目指す。 ・東京ベーシック・ドリルテストの図形領域の正答率を20%上げることを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・叙述から根拠をもち、自分の考えを書ける児童を目指す。 ・漢字テストで平均点を5点以上上げることを目指す。 ・東京ベーシック・ドリルテストの図形領域の正答率を10%上げることを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストを繰り返し行い、日頃から既習した漢字を活用している児童を目指す。 ・東京ベーシック・ドリルテストの正答率を10%上げる。

5 「授業改善プラン（仮）」フォーマット案 【中学校】

学校教育目標

前年度の学力向上に関する成果と課題

- ・前年度の指導の重点に対して、どの程度改善が進み、どこがまだ足りないのか
- ・全国及び区学力調査の傾向等も踏まえて

今年度の学力向上に関わる指導の重点

- ・どの教員もめざすべき授業の在り方を端的に示す。

	国語	社会	数学	理科	英語	実技教科
生徒の姿 ◎すでによくできていること △より伸ばしたいこと						
今年度の指導の重点 ・学年ごとでも、全学年通してでも構わない ・どんな活動をどのくらい取り入れるか ・前年度からどのように変えるか ・できる限り数値や頻度を入れて具体的に						
目指す成果 具体的にどの数値がいくつになることを目指すか(学調や意識調査など)						
年度末評価						